

敗

四年 筆順 11 画数
オンハイ
フン やぶるれる



成り立ち

「貝（年11）」と、手にぼうを持った形の「女」とを組み合わせて作った字です。

「手に持つたぼうで貝をたたいている形」を表した字で、「貝がらが『やぶれる』こと」を表したものです。『やぶれる』『こわれる』『だめになる』という意味の字です。

例腐敗。

いくさで、『まける（やぶれる）』ことにも使われます。例失敗。

例敗戦、敗軍、勝敗。

梅
四年
筆順
10
画数
10
四年
オノ
ハイ
フン
やぶるれる
成り立ち
枝 梅 梅

成り立ち



もと、梅の木は『某』という字でした。『甘ずっぱい』という意味の『甘』と『木』とを組み合わせて、『甘ずっぱい実のなる『うめの木』』を表しました。

ところが、『某日』『某氏』という使い方に用いられるようになりましたので、『某』と同じ音の『毎』と、『木』とで、『うめの木』を表す新しい字を作ったわけです。

〔某は今はボウであるが、バイであつたことは『媒』でわかる。漢音バイは、吳音ではマイになる。毎は吳音でマイと読まれているが、漢音はバイで、だから、梅はバイと読まれているのである。また、『様』とも書く。〕

便利な方

▽勝敗は時の運だが、敗れた時は、「敗軍の將、兵を語らず」で、小さくなっている方が良い。

▽「失敗は成功の母」ということわざがあります。最初のうちは失敗が多いのですから、それを恐れず、どんどん試してみているうちに、何事も上手になるのです。

▽腐敗（腐つて、だめになること。物が腐つてだめになつたり、心が腐つて堕落することをいいます。「政界の腐敗に心を痛める」などというふうに、つかいます。）

▽敗戦（戦いに敗れること。「この敗戦の原因は、作戦のまささにある」などというふうに、つかいます。）

▽敗軍（戦いに敗れた軍隊。また、戦いに敗れることをもいいます。「敗軍の将をいたわる」などというふうに、つかいます。）

▽勝敗（勝つことと負けること。勝ち負け。「勝敗は時の運」などというふうに、つかいます。）

▽失敗（しくじり。やりそこない。「失敗しても、もともとだから、思いきってやつてみよう」などというふうに、つかいます。）

▽紅梅（赤い花の咲く梅）

▽白梅（白い花の咲く梅。「しらうめ」とも読みます。これを「梅雨」と呼びます。梅の実る頃に降る雨、といふ意味です。この時期は湿気が多く、かびが生えやすいので、注意が必要です。「梅雨」は「つゆ」とも読みます。）

▽観梅（梅見。梅を見て楽しむこと。「観梅の宴を催す」などというふうに、つかいます。）

▽探梅（梅を探して、見て楽しむこと。「探梅行」などと云う言葉もあります。）

▽寒梅（寒い中で咲いている梅）

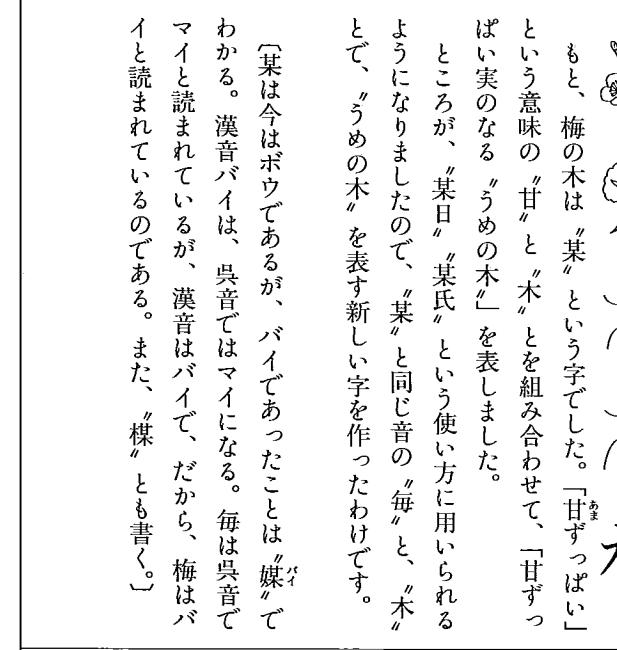
▽梅林（梅の林。「近くの梅林に梅見に行つた」などといふうに、つかいます。）

▽梅園（梅の園。梅がたくさん生えている庭。「水戸の偕楽園は、有名な梅園です」などといふうに、つかいます。）

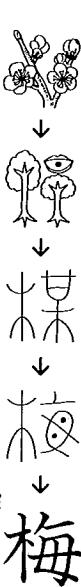
熟語例

便り方
日本では、梅の実がなる頃に、長い間雨が降ります。これを「梅雨」と呼びます。梅の実る頃に降る雨、といふ意味です。この時期は湿気が多く、かびが生えやすいので、注意が必要です。「梅雨」は「つゆ」とも読みます。

便り方



成り立ち



もと、梅の木は『某』という字でした。『甘ずっぱい』

という意味の『甘』と『木』とを組み合わせて、『甘ずっぱい実のなる『うめの木』』を表しました。

ところが、『某日』『某氏』という使い方に用いられるようになりましたので、『某』と同じ音の『毎』と、『木』とで、『うめの木』を表す新しい字を作ったわけです。